



馬酔木は万葉集にもよく詠まれているツツジ科の植物で、早春にスズランに似た可憐な花が咲く。シカが食べないため奈良公園にも多く生育する。

あ せ び 馬酔木通信

No.30 Summer 2012



奈良佐保短期大学



専攻科の学生と鹿野園レストランにて

学長に就任して

学長 馬越 かよ子

4月1日付けで学長を拝命いたしました。

奈良女子大学同窓会「佐保会」の会員である私にとりまして縁のある、加えて創立80年の歴史と伝統を誇る奈良佐保短期大学に学長として就任できたことはこの上ない喜びであるとともに、その責任の重大さを痛感いたしております。

6月に実施しました本学同窓会「あせび会」役員の皆様との懇談会で、当時の学校の様子などをお聞かせいただきました。本学創設の基である佐保女学院さらに佐保女学院短期大学や奈良佐保女学院短期大学での徹底した教育の下で知識・技能・教養を身につけられ、職業人としてまた家庭人としてご活躍されてこれたお話の端々から、本学で学んだことに誇りと自信を持っておられることがひしひしと伝わってまいりました。今の学生たちにも同じように、卒業した後も奈良佐保短期大学で学んだことを誇りに思い、自信を持って自分らしい人生を歩んでくれるようにと願わずにはおられません。

予想もつかないことが次々と起こり、将来が見えない不安定な社会の中で、希望や夢を持つことに意味を見出し得ないでいる若者に、

夢を持たせて自らの人生を切り拓いていく力を身につけさせ、自分の得意とすることで社会に貢献させるように育むことは、大学教育の大きな柱の一つでもあります。

本学では自分らしさを活かせるエネルギーを培う大学として、生活未来科と地域こども学科を核に、付加価値を持つ専門職としての自分を見つけ出せるように様々な取組を展開しており、学生たちは2年間という短い限られた時の中で、それに応えようと必死に頑張っています。

また本学は、毎年のように、文部科学省の「国公私を通じた大学教育改革支援プログラム」に応募し、学生の学びを支援・充実させる事業であるとして採択され、専門職業人の就業力へと結び付ける事業を実施していることは、小規模ながら、キラッと輝く短期大学として、その存在を価値あるものにしていくと自負しております。

今後とも奈良のこの地だからこそ可能な教育研究活動をさらに深め、奈良佐保短期大学で学んで良かったと思っただけの大学づくりを進めることが、学長を始めとする本学教職員の使命であると考えています。

「人と違っていい。違うからいい。あなたらしさを見つけるまで、ほっときませんサホ短は！」をかかげて、これからも学生とともに在ることに誇りを持って進んでまいります。